

【感染症と登園のめやす】

No.	感染症名	潜伏期間	感染しやすい期間	感染経路	主な症状と経路	登園のめやす	提出物
1	麻疹 (はしか)	8～12 日	発疹出現の 前後 4～5 日	咳・くしゃみ 等による飛沫 感染	咳、くしゃみ、鼻水、目やにで始まり続いて発熱。 いったん解熱し、さらに発熱と同時に発疹が出現。 口の中に白い斑点が出る。	解熱後 3 日を経過し、全身状態が良好であること。	意見書
2	新型コロナ ウイルス感染症	約 5 日 最長 14 日	発症 2 日前から発症後 7 ～10 日間程度	飛沫・接触・ エアロゾル	発熱、筋肉痛、倦怠感、咳、痰、 味覚嗅覚障害。	発症から 5 日経過し、かつ症状軽快後 1 日を経過していること。	意見書
3	風疹 (三日はしか)	16～18 日	発疹出現の 前後 7 日間	唾液による 飛沫	軽い発熱。同時に細かい発疹が全身に現れる。首・ 後頭部・耳下リンパ腺が腫れる。3～4 日で発疹 が消える。	発疹が消失していること。	意見書
4	水痘 (水ぼうそう)	14～16 日	水泡出現後 2～6 日	唾液による 飛沫	発熱(しない時もある)周りに赤みの丘疹が、3・ 4 日で次々に水泡になり 2～3 日でかさぶたになる。 かゆみが強い。	すべての発疹が痂皮(かさぶた)化していること。	意見書
5	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ、 ムンプス)	16～18 日	特有の症状を示す 7 日前 からその後 9 日	唾液による 飛沫	発熱(しない場合もある)耳の下・顎の下が腫れる。 口をあけたり食べたりすると痛む。	耳下腺、顎下腺または舌下腺腫脹が発現した後 5 日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること。	意見書
6	結核	3 か月～ 数 10 年		空気感染 接触・経口	初期は微熱、咳、痰がでるなど。風邪と同じような 症状。	医師により感染の恐れがないと認められていること。	意見書
7	咽頭結膜炎 (プール熱)	2～14 日	潜伏期間後半～発症後約 5 日	接触、経口 飛沫	高熱、咽頭熱、目やに、目の充血、首のリンパ腺 の腫れ(咽頭炎と結膜炎の合併症)。	発熱、充血等の主な症状が消失した後 2 日経過していること。	意見書
8	流行性角結膜炎 (はやり目)	2～14 日	発症後約 2 週間	目やに接触、 プール、手指、 タオル	目がゴロゴロして痛かゆい。目の充血、目やに、 涙目、瞼の浮腫。	結膜炎の症状が消失していること。	意見書
9	百日咳	7～10 日	感染後約 3 週間	飛沫感染・ 接触感染	1～2 週間にわたり、咳、鼻水、くしゃみに続いて 特有の咳(コンコン、ヒューヒュー)が 2～3 カ月続く。	特有の咳が消失していること、または適正な抗菌性物質 製剤による 5 日間の治療が終了していること。	意見書
10	腸管出血性大腸菌感 染症 (O157、O26、 O111 等)	10 時間～6 日 (O157:3～4 日)	発症後 約 4 日～1 週間	飲食物から の経口感染	発熱、倦怠感、下痢、腹痛、鮮血便。	医師により感染の恐れがないと認められていること。 (無症状病原体保有者の場合、5 歳未満の子どもは、2 回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能。)	意見書
11	急性出血性 結膜炎	平均 24 時間 又は 2～3 日	発症後約 4 日	接触感染	流涙、結膜充血、瞼の浮腫、目やに。	医師により感染の恐れがないと認められていること。	意見書
12	侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)	4 日以内	感染後 約 2～4 週間	飛沫感染	発熱、頭痛、嘔吐。急速に重症化することがあり、 回復後、難聴、まひ、てんかん等の後遺症が残る。	医師により感染の恐れがないと認められていること。	意見書

No.	感染症名	潜伏期間	感染可能期間	感染経路	主な症状と経路	登園のめやす	提出物
13	溶連菌感染症	2～5 日 (とびひ:7～10 日)	潜伏期間後半～発症後 約 10 日	飛沫・接触	発熱、咽頭炎、扁桃腺炎、莓舌 顎部リンパ 節炎、全身に発疹。	抗菌薬内服後 24～48 時間経過していること。	登園届
14	マイコプラズマ 肺炎	14～21 日		飛沫・接触	咳、発熱、頭痛等、呼吸困難（重症の場合）。	発熱や激しい咳が治まっていること。	登園届
15	手足口病	3～6 日	急性期の数日間	飛沫・接触	発疹や水泡が、手・足・口にできる。	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の 食事がとれること。	登園届
16	伝染性紅班 (りんご病)	4～14 日	発疹出現の前の 1 週間	飛沫	両頬の境界鮮明な紅班。続いて腕・脚部にも 両側性にレースの様な紅班が見られる。	全身状態が良好であること。	登園届
17	ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・アデノ)	1～3 日		経口 (吐物・便)	発熱、下痢、嘔吐。	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれ ること。	登園届
18	ヘルパンギーナ	3～6 日	急性期の数日間	飛沫・接触	高熱と強い喉の痛みが特徴。	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく、普段の 食事がとれること。	登園届
19	RS ウイルス 感染症	4～6 日	呼吸症状の ある間	飛沫・接触	軽い鼻かぜから始まり、咳が出てゼーゼー と息をするようになる。	呼吸器症状が消滅し、全身状態が良好であるこ と。	登園届
20	带状疱疹	水痘感染後体内 の神経節にウイル スが潜み体調 が弱る時に発症	水疱を形成している間	接触感染	体の片側に痛みの強い発疹が帯状に出る。 発疹は水痘と同じように変化していく。	すべての発疹が痂皮（かさぶた）化していること。	登園届
21	突発性発疹	9～10 日		飛沫・接触・ 経口	生後初めての発熱で、突然 38 度以上の熱が 3 日程度続くが元気で食欲もある。熱が下 がると全身に鮮紅色の発疹が出るが、数日 で自然に消える。	解熱し、機嫌が良く全身状態が良好であること。	登園届
22	インフルエンザ	1～4 日	症状がある期間（発症前 24 時間から発症後 3 日程 度までが強い）	咳・くしゃみ 等による飛沫 感染	高熱、咳、頭痛、咽頭熱、関節炎。	※P.21「インフルエンザ登園停止期間早見表」を参照。	登園届

注意事項

- とびひ・アタマジラミ・水いぼは、意見書（医師記入）・登園届は必要ありませんが、必ず医師の判断で患部を覆う等の処置後、登園をお願いします。水遊び期間中は水遊びの可否についても医師に尋ねて下さい。
- アデノウイルス感染症については、咽頭結膜炎（プール熱）・流行性角結膜炎（はやり目）が該当する恐れがありますので、必ずご確認下さい。該当する場合は、登園に際し、医師の意見書の提出が必要です。